

広報ほんべつ

本別

いいひと いいまち いきいきほんべつ

HONBETSU

May 2012.5
No.1003



特集

春交通安全

春交通安全

気温の上昇とともに、気持ちの緩みがちになるこの季節。悲惨な交通事故が起きないようにと、町内の各種団体が交通安全への取り組みを実施しました。

自分の身は自分で守る

自分で守る

平成23年の全国交通事故死者数は11年連続で減少したものの、4612人が犠牲になっています。そのうち、道内での交通事故死者数は190人で、全国ワースト6となり、本別町内では10件の人身交通事故が発生し、うち1人が尊い命を失っています。

交通事故は、ちょっとした油断から引き起こり、取り返しのつかない事態となり加害者被害者だけではなく、家族にとっても精神的・経済的に多くの負担を伴います。

痛ましい交通事故を起こさない、合わないためにも、運転者・歩行者共に安全確認を徹底して「自分の身は自分で守る」ことを心掛きましょう。



中央小学校春の交通安全教室 4/17

4月17日に、町交通指導員や婦人ボランティア、地域コーディネーターがサポートし実施された、本別中央小学校(岩野真志校長)による、新1年生を対象とした春の交通安全教室。信号機付き横断歩道の渡り方を学びました。

安全運転を訴える

春の全国交通安全運動に合わせて、4月10日に北海道警友会本別支部(木田弘支部長)会員約10人が北8丁目ふれあい公園で、本別建友会(三木哲会長)会員約40人が南4丁目の国道242号線沿いで、4月12日には本別ライオンズクラブ(山下博明会長)会員23人が北8丁目ふれあい公園で交通安全キャンペーンを実施しました。

会員らは、道行くドライバーに交通安全啓発チラシやガムなどを手渡ししながら、「スピードダウンをお願いします」などと安全運転を訴えました。



北海道警友会本別支部



本別建友会



本別ライオンズクラブ

新入学児童を交通事故から守るため

本別町交通安全母の会(田西喜代会長)が4月11日から13日までの3日間、町内3小学校で新1年生を交通事故から守る取り組みを実施しました。同会会員は、「交通安全マスコットや夜光反射材、ぬり絵など」を一人ひとりに手渡し交通安全を呼び掛けたほか、本別警察署員からは交通安全の話があり、子供たちは真剣な表情で話を傾けました。



勇足小学校



本別中央小学校



仙美里小学校

交通事故に十分注意しましょう

小学生の交通事故で一番多いのは小学1・2年生です。飛び出しによる事故が多いので、親や家族などが基本的な交通マナーをしっかり教えてあげてください。高齢者が運転する自動車での事故も多いので、高齢者ドライバーは運転に十分気を付けてください。



本別警察署 野村泰則 署長

国民年金

第1号被保険者の独自給付

その121

第1号被保険者(農林漁業・自営業など)の人とその配偶者、学生、家事手伝いなどの人には次の3つの独自給付があります。

その1 付加年金

月額400円の付加保険料を納めて、老齢基礎年金に上乗せして受け取れます。

★年金額(年額)

付加保険料納付月数×2000円

※2年間で元が取れます

その2 寡婦年金

第1号被保険者として保険料を納めた期間(免除期間なども含む)が25年以上ある夫が死亡した場合、死亡時に10年以上婚姻関係にあった妻が60歳から65歳になるまでの間支給されます。

★年金額

夫が受けられたであろう老齢基礎年金額の4分の3

その3 死亡一時金

第1号被保険者として保険料を3年以上納めた人が、年金を受けずに亡くなった場合、生計を同じくしていた遺族に支給されます。ただし、遺族が遺族基礎年金を受けられない場合に限りです。

★年金額

保険料納付期間に応じて
12万円～32万円

※寡婦年金と死亡一時金は、支給要件がありますので、詳しくは帯広年金事務所または住民課戸籍年金担当へお問い合わせください。

帯広年金事務所ではこんなことを行っています

○年金制度についての相談や質問の受け付け(受給や免除のご相談・加入記録の確認など)

☎0155-16515003

相談される場合は、年金証書、年金振込通知書、年金手帳、免許証など本人が確認できるものを持参ください。



詳しくは
住民課戸籍年金担当へ
0155-8128

本別町町民植樹祭 を開催します

町では、景観を重視し多くのの人々に親しまれる山づくりを目的として、次の通り「町民植樹祭」を開催します。
多くの皆さんの参加をお待ちしています。

☆と き
5月16日(水)
午前10時～午前11時

☆と ころ
新 生 (旧富士ドライブイン道路向かい)
※入口に看板を設置します

☆集合場所
役場玄関前 (南側)
※午前9時20分にバスを運行します
※直接、植樹祭会場に行かれる人は午前10時までにお越しください

☆植栽内容
さくら 60本
もみじ 40本

☆申し込み
5月9日(水)まで



☆その他
参加に当たっては、スコップ、軍手、長靴等をご用意ください



申し込みおよび問い合わせ

農林課林務・耕地整備担当 ☎22-8126へ

主な催し物

- ☆にじます放流・釣り
- ☆ジャンボ義経鍋
- ☆ふわふわランド
- ☆ゲーム大会
- ☆国土緑化記念植樹
- ☆郷土芸能
- ☆本別義経太鼓
- ☆本別駒おどり
- ☆野 点
- ☆モデル撮影会

何ん田研二
お笑いライブステージ
午後0時45分

問い合わせ
実行委員会事務局
企画振興課
商工観光・元気まち担当
☎22-2141



第54回 本別山溪 つつじ祭り

第54回本別山溪つつじまつり(実行委員会主催)が5月13日、今年も1万6000株のエゾムラサキツツジと2000本のエゾヤマザクラが咲き誇る本別公園で開催されます。
子供たちに大人気のふわふわランドのほか、お笑いステージやジャンボ義経鍋など、盛りだくさんの催しで皆さんをお待ちしています。家族や友達などと楽しい春のひとときを過ごしませんか。

5月13日(日)
午前10時～
義経の里本別公園
決小行雨



チャレンジデー

2012

スポーツは健やかな日々へのパスポート

日常生活に運動やスポーツなどを定期的に取り入れ、健康な心と体を養うきっかけづくりとして、チャレンジデーを開催します。全町的な取り組みを目指しています。一人でも多くの皆さんの参加をお待ちしています。

とき 5月30日(水) 午前0時～午後9時

ところ 町内ならどこでもOK

対象 子どもから大人まで

主催 本別町チャレンジデー実行委員会



チャレンジデーとは?

毎年5月の最終水曜日に世界中で実施されている、住民総参加型のスポーツイベント。この日は、人口規模がほぼ同じ自治体同士が、午前0時から午後9時までの間に、15分以上継続して運動やスポーツをした「住民参加率」を競い合うものです。また、参加率によって「金」「銀」「銅」メダルが授与されますので、「金」メダルを目指して頑張らしましょう!

対戦相手は?

参加5回の実績を持つ宮城県色麻町(人口約7500人)です。図書館では、色麻町を紹介するコーナーを設置しています。地図やパンフレット、観光地などを揃えていますので、ご来館ください。

対戦に取れたら

相手自治体の町旗を庁舎メインホールに1週間掲揚し、相手の健闘をたたえま

昨年参加者の声



安田 悟明 さん
南4丁目

職場の仲間とフルディックウォーキングやラジオ体操に参加しました。朝に体を動かしたことで爽快感を味わって充実した一日となりました。運動は体だけではなく精神的にも良いことだと改めて感じました。これからも続けていきます!



佐藤 茂美 さん
山手町

役場前で行われた「出勤前のラジオ体操」に参加しましたが、体操後に振る舞われたドーナツと牛乳に満足。当日は体力増進センターも無料開放されていたので、丸一日スポーツを満喫することができました。この日をきっかけに週3-4回体力増進センターを利用してもらっています。今年も是非参加したいと思っています。

チャレンジデー参加の流れ

★どんな運動、スポーツでもOK!

町内で午前0時から午後9時までの好きな時間に、15分以上継続した運動やスポーツを実施。自宅、学校、職場などどこでも構いません。個人、団体も問いません。また、町外からの通学・通勤者、観光客も参加可能です。

★運動、スポーツをしただけ報告!

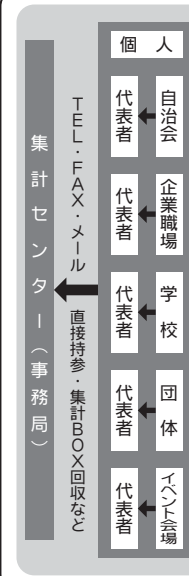
皆さんからの報告で、参加率を集計します。運動、スポーツを終えたら、集計センターまで、住所・氏名・年齢・運動種目の報告をお願いします。
注意 報告は午前6時から午後9時30分までとなります。

★集計センター(本部)町体育館内

TEL 22-1455 FAX 22-1466
Eメール c-day@town.honbetsu.hokkaido.jp

※集計ボックスも設置しますのでご利用ください。集計ボックスの設置場所および報告方法については、5月15日号からし的情報誌「かけはし」の折り返しチラシで詳しくお知らせいたします。

参加報告のイメージ



チャレンジデー参加に伴う町体育施設等の無料開放および使用料減免について

○無料開放施設
次の施設を無料開放しますので、是非ご利用ください。なお、町民以外の人も無料となります。

施設名	開放時間
太陽の丘・義経の里PG場	午前9時～午後5時
体力増進センター	午前10時～午後8時
町民水泳プール	午後1時～午後8時
ふれあい多目的アリーナ	午後7時～午後10時

○使用料の減免

職場やグループなどの団体が、町体育施設や学校開放等を使用する場合には、使用料の減免をします。取り組みを検討している団体がありましたら、事務局までご連絡ください。なお、施設に限りがあるため使用できない場合もありますのでご了承ください。

問い合わせ

本別町チャレンジデー実行委員会事務局(町体育館内スポーツ担当)

☎ 22-2331

実行委員会ならびに町体育協会加盟団体では、チャレンジデー開催に合わせて、なかなか一人で運動は...という人のために、次の通りスポーツイベントを実施します。多くの皆様のご参加をお待ちしています。



イベント名	時間	会場	定員	申込
早朝ノルディックウォーキング教室 ※指導 北海道ノルディックウォーキング協会	午前6時~ 午前7時	町体育館で受け付け後、市街地へ	40人	要
出勤前のラジオ体操 ※終了後にパンと牛乳を提供(数に限りあり)	午前7時15分~ 午前7時30分	役場南側正面玄関前	無	不要
ノルディックウォーキング教室 ※指導 北海道ノルディックウォーキング協会	午前10時~ 午前11時30分	本別公園 ※雨天時はあまの多目的アリーナ	40人	要
シヨッピングウォーク	午前10時~ 午後8時	町内のスパー	無	不要
爽快! 神居山から 本別町を見渡ししよう	午前5時~ 午後2時	各自で展望台目指し登山	無	不要
町弧線ボールゲーム(フリスビーやフライングディスク) ファミリーバドミントン※1、カローリング※2、卓球、アジャタ(玉入れ)など	午前10時~ 午後5時	町体育館大ホール	無	不要
ふまねつと体験会 ※3 ガンバールン体験会 ※4	午前10時~正午 午後1時30分~ 午後3時	あが里交流センター北6丁目 仙美里地区公民館(仙美里町)	50人	不要
ナイトウォーキング	午後5時~ 午後8時30分	町体育館で受け付け後、市街地へ(受付・午後5時~午後7時30分)	無	不要

○参加料はすべて無料です
○申し込みは町体育館内スポーツ担当 ☎22-2331

※1 バドミントンのルールや用具をアレンジして考案された初心者でも楽しめるスポーツ
※2 室内版カローリング
※3 床に敷いたマス目50cm四方の大きな網を、踏まないようにゆっくり歩く運動
※4 ボールを使った、握る、投げる、転がすなどの運動

町体育協会加盟団体主催イベント

★ゲートボール大会

時 午前8時30分~
午後1時30分
所 ふれあい多目的アリーナ
5月20日(日) までにゲートボール協会 矢部英夫さん(☎22-5529)へ
※5人1組で申し込みください



★パークゴルフ大会

時 午後1時~
所 太陽の丘パークゴルフ場
5000円 賞品あり
内 男女別個人戦36ホール
申 5月23日(水) までにパークゴルフ協会 吉田武久さん(☎090-621212-9343)へ

★勝毎杯ミニバレーボール大会

時 午後7時~
所 本別中学校体育館
混合(男2女2)
160歳未満の部
160歳以上の部
※男子1人女子3人のチーム構成も可
1人500円
参加賞・賞品あり
申 5月10日(木) までにミニバレー協会 高瀬英明さん(☎およびファクス22-2249)へ

★バスケットボール体験交流会

時 午後6時~午後9時
所 本別中央小学校第一体育館
ミニバス、ジュニア、高校一般の部
※個人・チーム参加どちらでも可(町外の人も参加可)

申 バスケットボール協会 小川浩昭さん(☎090-152710211)へ

※当日申し込み可

★弓道記録会

時 高校生の部 午後3時30分
一般の部 午後5時~
所 ふれあい多目的アリーナ
4人3立(12射)
弓道連盟 七田章さん(☎090-69931866)へ
※当日申し込み可

★バドミントン体験会

時 午後6時30分~
所 町体育館
バドミントン協会 山西美奈子さん(☎0901377712976)へ
※当日申し込み可
※興味のある人は遊びに来てください。初心者にもやさしく丁寧に指導します



自治会も取り組みます

今年は、自治会でも取り組みます! ぜひご参加ください。詳しくは、くらしの情報紙かけはし5月15日号の折り込みチラシでお知らせします。



イベント情報の見方
時 時間
所 会場
内 内容
申 参加料
申 申し込み

水道工事・下水道工事にぜひ協力を

今年度も水道工事・下水道工事を計画図の通り行います。
水道工事の際には、一時断水や多少水が濁ったりする場合があります。下水道工事では、個所によっては工法上、作業中に車両通行止めのごも出るため、回りの案内標識をご確認の上、通行をお願いします。
皆さんにはご不便をお掛けしますが、ご協力をお願いします。

下水道の普及状況は

町公共下水道は皆さんの温かいご理解で、平成3年3月末に供用を開始した後も順調に進み、23年度末で整備面積が270.3ha（事業認可面積357ha、管きよ（下水道の埋設）の総延長は50.8kmとなりました。
23年度の水洗化など（トイレ、台所、風呂）の状況は、改造工事および新築による接続を合わせて28件（個人、法人、団体すべてを含む）、これまでの累計で2510件となり、水洗化率は88.31%となりました。

水洗化改造工事に融資・補助制度があります

融資あっせん制度は融資額の上限が60万円。自己資金で工事を行った人への補助金の上限は6万円となっています（供用後3年以内に工事をされた場合）。
3年を過ぎてから工事を行った場合は、1年経過ごとに上限の額が少しずつ低くなり、補助については5年で打ち切りとなります。

工事の申し込みは町の指定業者へ

給水装置の新設、改造、修繕、撤去などの水道工事や水洗化改造工事を行うときは、町が指定した指定工事業者へ工事の申し込みをしてください。
指定工事業者が建設水道課へ必要な手続きや、水洗化工事における融資あっせん制度、補助金制度の手続きを取り、工事を行います。

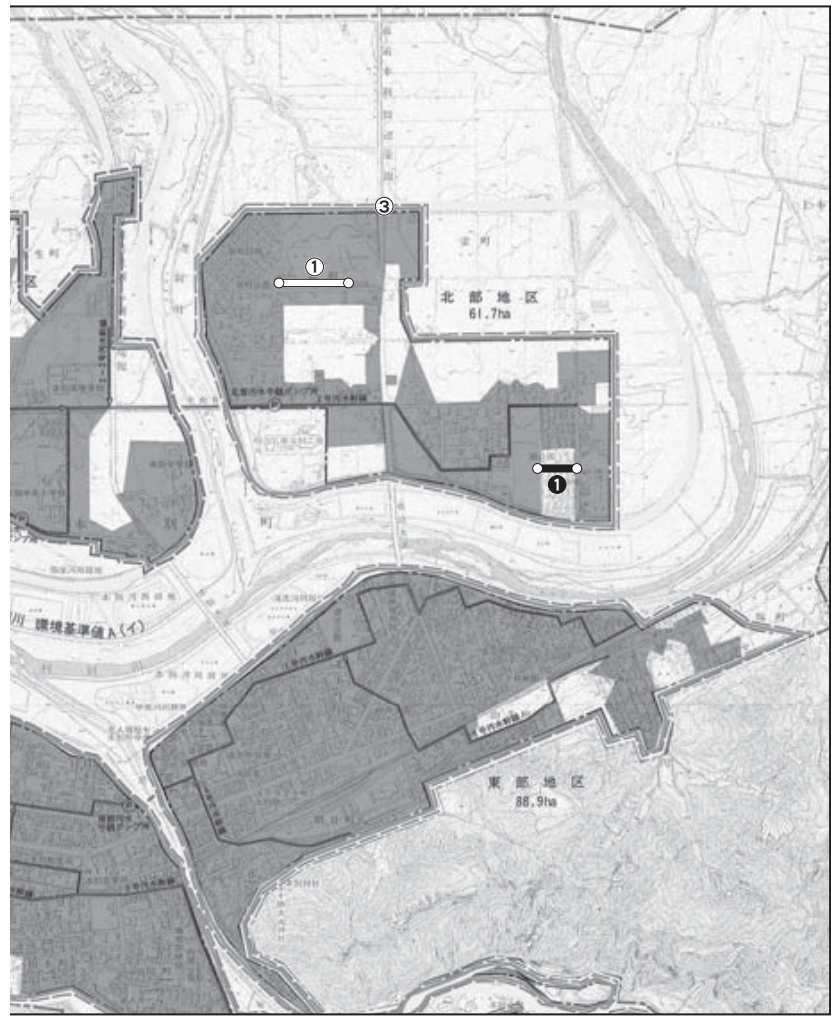
問合せ
建設水道課
水道・下水道担当
☎22-8122

平成24年度 水道工事・下水道工事計画図

凡	例
	平成24年度施工水道工事
	下水道認可区域
	平成23年度末までの下水道供用区域
	平成24年度施工下水道工事

- ### 水道工事
- ①本別町新町本通り配水管整備工事
管径150mm 延長=180m
 - ②上水道量水器更新工事
（上水道区域内対象）
取替か所 406か所
 - ③給水区域連絡管整備工事
3か所
管径50～100mm 計=17m
 - ④簡易水道量水器更新工事
（勇足、仙美里、美里別対象）
取替か所 93か所

- ### 下水道工事
- ①公共下水道汚水管渠新設工事
管径150mm 延長=68m
 - ②マンホールふた更新工事
南2丁目から北3丁目の供用開始区域内で10か所予定



本別町農産物ものづくり館「ゲンキッチン」

オープニングセレモニー



本別町農産物ものづくり館「ゲンキッチン」のオープニングセレモニーと記念イベントが4月21日、同館で開催されました。

本別ならではの食文化を発信

午前中に開かれたオープニングセレモニーでは、高橋正夫町長が「みなさんの元気をいただきながら、この施設から本別町ならではの食文化を発信するとともに、食育を通して次の世代を育てる施設にしたい。これからの本番です」とあいさつ。続いて、方川一郎町議会議長、井出英彦本別町農業協同組合常務理事が祝辞を述べました。最後に、出席した19団体約40人を代表し、岡崎勉本別町商工会長や三枝金作本別町自治会連合会長ら7人のテープカットでオープンを祝いました。

午後からの同施設を利用した、料理研究家の星澤幸子さんを招いた記念イベント「本別産『豆』を使った料理講習会」には、本別町農業協同組合女性部や本別町商工会女性部のほか、本別発豆ではりきる母さんの会など7団体約30人が参加し、サラダやスープ、デザート4品を調理。出来上がった料理は、みんなでおいしくいただきました。



ありがとう さようなら

美里別へき地保育所

平成23年度美里別へき地保育所修了式および閉所式が3月29日、美里別へき地保育所（川本千枝所長）で開催されました。同保育所は昭和50年に開設され、これまで37年間多くの子供たちの成長を見守り続けてきました。



通い慣れた 保育所に別れ

たくさんの拍手で迎えられながら、修了児4人の入場で始まった修了式および閉所式。川本所長は「この保育所でたくさん遊んだことを大切な思い出にしてください。美里別保育所ありがとう。さようなら」とあいさつしました。続いて、山田美紀美里別へき地保育所保護者の会会長と梅津洋一美里別へき地保育所父の会会長が、修了児へ「小学校では楽しいこともいっぱいある。たくさん勉強して頑張ってください」とエールを送り、最後は全員で元氣よく「おもいでのアムバム」を歌い、式を締めくくりました。

式後には閉所記念にみんなで作ったマグカップが一人ひとり手渡され、式に参列した家族らとともに記念撮影をするなど、通い慣れた保育所に別れを告げました。

4月からは、仙美里へき地保育所に統合され、在園児4人は新しいお友達が待つ同保育所へ通所します。



へき地患者 輸送バス編

運行体系

町では、へき地にある無医地区住民が医療機関で診療を受ける機会を得ること、生活環境を保持することを目的に、へき地患者輸送バスを運行しています。

町内5地区を曜日ごとに分け午前中は農村地区から市街地へ、午後は市街地から農村地区へ運行しており、運賃は無料となっています。

通院以外の目的でも利用することができ、農村地区に住む自動車が利用できない町民の重要な生活交通として利用されています。

〔月〕 押帯地区
美里別東地区

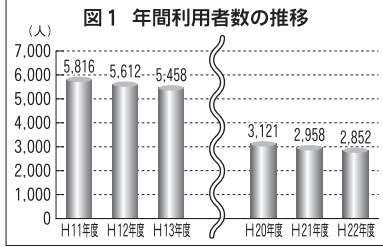
〔水〕 仙美里地区

〔木〕 美蘭別地区

〔金〕 新生・拓農・美里別地区

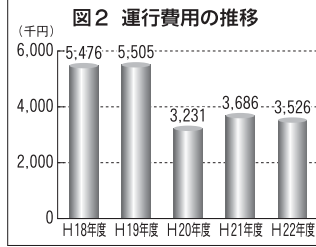
利用実績 (図1)

平成22年度の総利用者数は2852人で、全路線で利用者は年々減少してきています。10年間で利用者がほぼ半数程度にまで減少しています。



運行費用 (図2)

運行費用は年間約360万円で、平成20年度に委託運行を開始したことで減少しています。

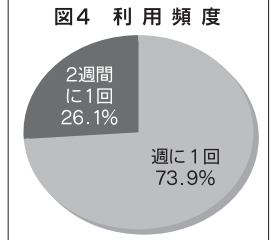
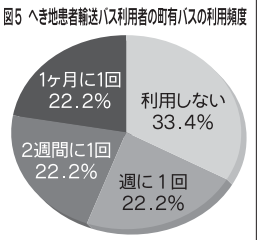
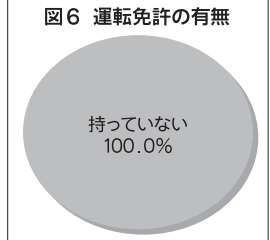
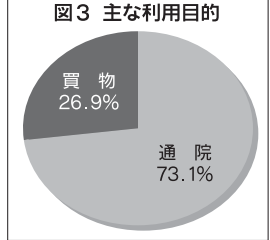


利用者アンケート

利用状況の把握と今後の運行改善に向けた利用者アンケートを実施し、押帯地区4人、活込・美里別東地区7人、仙美里地区3人、美蘭別地区2人、新生・拓農・美里別地区7人の合計23人の利用者から回答が得られました。

利用目的 (図3) は、通院が73.1%、買物が26.9%で、買物目的の利用も比較的多く、利用頻度 (図4) は、毎週利用している人が73.9%となっています。

また、へき地患者輸送バスの利用者の約7割が、町有バスも利用しており (図5)、回答もいただいた利用者全員が、運転免許を持っておらず (図6)、自動車を持てない人の生活を支える重要な交通手段となっていることが伺えます。



へき地患者輸送バス運行時刻表

【月曜日】押帯地区

主要 停車場 所	発着予定時間	
	往路(発)	復路(着)
西4 西尾宅前	9:15	14:25
押帯 藤宅前	9:18	14:28
押帯 富田宅前	9:24	14:34
押帯 三宅宅前交差点	9:33	14:43
上押帯 会館前	9:43	14:53
清進 会館前	9:48	14:58
押帯 大和田宅前	9:56	15:06
勇足西4 会館前	10:03	15:13
役場旧勇足出張所前	10:10	14:19
町国保 病院	10:23	14:10
J A 本別町前	-	14:04
本別町 体育館前	10:31	14:00

【木曜日】美蘭別地区

主要 停車場 所	発着予定時間	
	往路(発)	復路(着)
西4 南部宅前交差点	9:15	14:25
勇足西5 会館前	9:18	14:28
高美蘭 別会館前	9:26	14:36
美蘭別 若木坂上交差点	9:32	14:42
旧上美蘭 別分館	9:37	14:47
美蘭別 若木坂下交差点	9:40	14:50
旧下美蘭 別分館跡地前	9:44	14:54
勇足西1 会館前	9:55	15:05
町国保 病院	10:15	14:10
J A 本別町前	-	14:04
本別町 体育館前	10:25	14:00

【火曜日】活込・美里別東地区

主要 停車場 所	発着予定時間	
	往路(発)	復路(着)
美里別西中14号	9:10	14:20
西上ラウンベ入口交差点	9:13	14:23
美里別 郵便局	9:15	14:25
美里別西上25号	9:18	14:28
活込 鈴木入口交差点	9:24	14:34
活込 佐川交差点	9:25	14:35
旧活込 公民館分館	9:30	14:40
活込 神社交差点	9:32	14:42
活込 蓑島宅交差点	9:36	14:46
美里別地区 公民館	9:42	14:52
美里別東中 会館	9:48	14:58
美里別中地区 集会場	9:51	15:01
三日月台 篠原宅前	9:53	15:04
美里別西中9号	9:56	15:06
町国保 病院	10:15	14:10
J A 本別町前	-	14:04
本別町 体育館前	10:23	14:00

【金曜日】新生・拓農・美里別地区

主要 停車場 所	発着予定時間	
	往路(発)	復路(着)
西仙道道農大交差点	9:07	14:17
東中 佐藤光明宅前交差点	9:10	14:20
拓農18号 道道交差点	9:14	14:24
旧公民館 拓農分館	9:16	14:26
拓農25号 道道交差点	9:18	14:28
上拓農 活込神社交差点	9:23	14:33
新生 大沼芳道宅前	9:28	14:38
月見台 会館前	9:30	14:40
明美20号 入口	9:33	14:43
西仙美里14号 交差点	9:37	14:47
農大福谷 商店前	9:40	14:50
町国保 病院	9:55	14:10
J A 本別町前	-	14:04
本別町 体育館前	10:05	14:00

※年末年始、祝日は運休となります



問い合わせ

健康管理センター ☎22-2219

町国保病院 内科医長に 岩永健志医師が 着任しました



町国保病院の内科医長に岩永健志医師（57）が就任し、4月2日から診療にあたりています。

岩永医師は佐賀県佐賀市出身で、東京大学卒業後、東京都職員、現国土交通省職員を経て、32歳のときに医学の道を志し筑波大学医学部に進学。卒業後は、長野県組合立諏訪中央病院や士幌町国保病院、帯広市内の民間病院などに勤務されてきました。専門は内科、消化器科。

人と人との関わりを大切に出来るだけ患者に寄り添う診療に努めたい

岩永医師は、医者の仕事は、患者に負担を掛けないようにするための「アドバースと手助け」で、病気を治す主治医は自分自身であること強調し、今後は長年へき地医療を志してきた経験を生かし、「人と人との関わりを大切に、出来るだけ患者に寄り添う診療に努めたい」と力強く抱負を語られました。

ねると、「明るい雰囲気のは、患者に負担を掛けないまち」と話され、町民の皆さんへ「自然体でおつきあいたいと思います。お友達になりましょう」とメッセージを送ってくれました。

趣味は、登山で「なかなか時間がなくて行けませんが、二ベソツ山にも挑戦してみたいですね」と笑顔で答えてくれました。



シリーズ行政改革

まちの行方

第6部



第4次行財政改革推進計画

広報ほんべつ4月号（No.10002）に引き続き、推進計画についてお知らせいたします。

※推進計画は、8項目からなっており、今号では、次の3項目について報告いたします

VI 地域協働の推進

【主な取り組み】

★新しい公共の仕組みづくり

行政や事業者などとの適切な役割分担のもと、協働して構築していく「新しい公共」を、まちづくりの主役である町民と共に積極的に取り組みます。

★高齢者等除雪サービスへの再構築

高齢者等に対する除雪の大半は、地域での支え合いの中で行われています。担い手不足や高齢化などの課題があることから、役場関係課・部局による検討委員会を設置し、関係団体などからの意見聴取や本別町健康長寿のまちづくり会議での議論を経て、高齢者等除雪サービスの再構築を図ります。

VII 事務事業評価

【主な取り組み】

★乳幼児医療費助成事業

子どもを産み育てやすい環境の整備が急務の課題であることから、管内市町村の乳幼児医療費助成事業の実施状況を把握するとともに、本町の少子化・子育て環境の現状を十分に把握し、支援策の拡大を進めます。



★各種検診事業の受益者負担について

母子保健・子育て支援の観点から、子宮がん検診・乳がん検診さらには特定健診についても自己負担額を引き下げ、受診しやすい体制をつくります。検診事業については、過去の受診状況等をもとに評価・検討を行い、平成

27年度を目前に自己負担金額のあり方も含め検討します。

★資源集回収奨励事業の推進

自治会や各種団体の協力により進めている資源集回収奨励事業は、ごみの減量化、再利用による資源の保護と環境保全に大きな役割を果たしています。引き続き、本事業を推進し拡大します。

VIII その他

【主な取り組み】

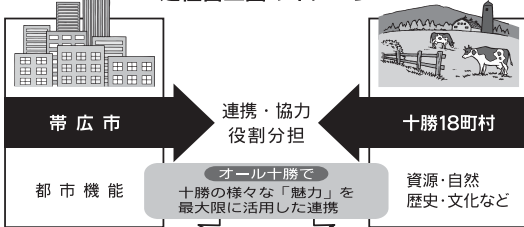
★公平性の確保と透明性の向上

開かれたまちづくりを進めるため、町政の諸活動について説明する責任を果たし、その公開性を高めていきます。町の保有する情報を迅速かつ容易に利用できるよう町のホームページなどを充実するなど、体制づくりを強化します。

★十勝定住自立圏構想の推進

十勝「中心市」の都市機能と「周辺市町村」の農林水産業、自然環境、歴史、文化など、それぞれの魅力を活かし、NPOや企業といった民間の担い手を含め相互に役割分担し、連携・協力することにより、圏域全体で住民のいのちと暮らしを守るための生活機能を確認し、地方圏への人口定住促進等を目標に、十勝定住自立圏構想を推進します。

定住自立圏のイメージ



住民の豊かな暮らしに必要な生活機能の確保
魅力あふれる地域を形成し、地方圏への人口定住を促進

※会議結果は、町ホームページで公開しています。

【本別町公式ホームページアドレス】
http://www.town.honbetsu.hokkaido.jp/public/cat/4_1.html

問い合わせ

企画振興課 行政改革担当

☎ 22-8121

バスに乗って 映画鑑賞

3 27~29

ふるさと銀河線代替バスを利用し、本別一帯広間を移動する「春休み子ども映画鑑賞会」が、3月27日から29日までの3日間実施されました。この鑑賞会は、バスの利用促進を目的に企画されたもので、参加した町内の小学生40人は、春休みの楽しい一日を過ごしました。



全国公衆衛生事業 功労者表彰受賞報告

3 19

全国公衆衛生事業功労者表彰を受賞した目黒金次郎さん（南4丁目）が3月19日、役場を訪れ、高橋正夫町長に受賞の報告をしました。この賞は、長年にわたり模範的な公衆衛生活動を続けてきた人に贈られるもので、目黒さんは「苦労も多かったが、うれしい」と喜びを語りました。



音楽会で 楽しいひととき

4 2

家庭教育支援事業なかよし「親子のためのふれあい音楽会」が4月2日、健康管理センターで開催され、本別高校吹奏楽部（泉安莉沙部長、11人）が、アニメソングや童謡など全9曲を演奏しました。参加した6組14人の親子と清流の里利用者6人は、音楽に合わせて手拍子をしたり、体を動かすなど楽しいひとときを過ごしました。



落語で知ろう 後見制度

3 21

3月21日、「落語で知ろう後見制度」と題した市民後見人推進事業キックオフイベントが中央公民館で開催されました。総合ケアセンター職員が、後見制度の現状や取り組みについて報告した後、釧路家庭裁判所帯広支部の白水雄一調査官が、家庭裁判所の役割と成年後見制度について説明。続いて、ひな太郎師匠が、後見落語「後見爺さん」を口演しました。約150人の来場者は後見制度の大切さや必要性について学びました。



本別町教育委員会

教育委員長 水谷 令子

（平成24年1月13日就任）



今、社会環境は激変し複雑な時代を迎え、教育行政への期待は大きく、今まで以上に「人材の育成」と、たくましく「生きる力」を育む教育が求められています。

教育委員会では、保護者、地域の皆様や関係機関との連携を深めながら、家庭・学校・地域が一体となり、子供たちが生き生きと学び遊び、のびのび育てる環境づくりのため、学ぶ人すべての応援団として全力で取り組んでまいります。



我妻 勇次
教育委員長職務代理者



布施 耕一
教育委員



山下 博志
教育委員



中野 博文
教育長

教育委員会の活動

- 教育執行方針に沿った教育委員会会議の毎月開催
- 教育委員会主催の各種行事の開催
- 入学式や卒業式、運動会、文化祭、地域参観日などの各種学校行事に参加
- 道教委および十勝教育局主催の教育委員研修会や会議に参加
- 町内のスポーツ・文化活動などの行事に参加



本別中央小学校入学式



成人式

「ほんべつ学びの日」四つの風を吹き渡らせよう

「ほんべつ学びの日」は、町民の皆さんが生涯学習の観点に立ち、「子供たちの健全な精神と豊かな心を育む」ために平成19年9月に宣言されました。

教育委員会では、全町民が学びに対する関心をより一層高め、家庭・学校・地域が連携し、大人と子どもが一緒になって日々学ぶことを「四つの風」にたとえて取り組んでいます。

光風 学校 目標を立てて元気で楽しい学校生活にしよう
地域 子供たちに元気に笑顔であいさつをしよう

祈風 学校 平和の大切さや命の尊さを考え、郷土愛を育もう
地域 郷土の歴史や財産を大切に、歴史を語り継ごう

夢風 学校 読書への興味や関心を高め、夢や将来について考えよう
地域 様々なことにチャレンジして夢をふくらまそう

実風 学校 大地の恵みに感謝し「食べ物」の大切さを知り、スポーツに親しもう
地域 本別の産品を食べ、スポーツを通して子供たちとふれあおう



わが町の七月十五日「語り部」

【教育に関する相談窓口】

児童・生徒や保護者等からの教育に関する心配ごとや悩みなどの相談を24時間体制で対応しています。必要に応じて教育相談員を紹介します。

教育相談電話 ☎ 0120-627867

相談員のご紹介

井出 智子 さん（新町）
志戸田 由美子 さん（勇足元町）
田口 小百合 さん（緑町）
工藤 雅史 さん（教育委員会）

遊具がきれいに なりました

4 21

本別建友会（三木哲会長）の「人にやさしくほんべつ21」ボランティアが4月21日、本別公園と弥生町文教会館で実施され、会員約50人が遊具の塗装に汗を流しました。この取り組みは、地域貢献活動の一環として開町100年から行われているもので、今年で11年目。塗り替えられた遊具は、見違えるほどきれいに生まれ変わりました。



競技を始める 準備が整いました

4 16~21

株式会社井上産業（井上好春社長）が4月16日から21日までの6日間、地域貢献活動の一環として町内野外体育施設の転圧を実施しました。タイヤローラーで整備された芝生やグラウンドは、凸凹がなくなり、競技を始める準備が整いました。



自慢の足を競う

4 15

第26回ほんべつ公園クロスカントリー大会が4月15日、本別公園で開催され、町内外から参加した小学2年生から80歳までの約170人が自慢の足を競い合いました。選手らは、積極的なレース展開で、起伏のあるコースを走破。ゴール後は爽やかな表情を浮かべていました。



本別初女性消防団員入団

4 2

本別消防団（遠藤利之団長、100人）初となる「女性消防団員入団式」が4月2日、町体育館で開催され、6人の女性団員が地域防災への決意を新たにしました。遠藤団長が、「一人ひとりに辞令書を手渡した後、「女性らしい、やさしさと温かさで防火指導に当たってほしい」と訓示。続いて、6人を代表して佐藤季絵さんが、「予防消防に、女性のきめ細かな感性を生かし、災害弱者と言われる老人や子どもへの気遣いをし、地域社会の安全を守るため、女性団員の輪を広げることを誓います」と力強く宣言しました。



おいしいシイタケが できますように

4 22

本別町林業グループ（篠江孝夫会長）主催によるキノコ栽培研修会が4月22日、町ふるさと産業開発センターで開催されました。約30人の参加者は、菌の植え付けやほだ木の管理方法について説明を聞いた後、おいしいシイタケがたくさん収穫できることを期待しながら、用意されたミズナラ350本に穴を開け、菌を植え付けていました。



パレードで 防火を呼び掛ける

4 20

春の全道火災予防運動（4月20日～30日）初日の4月20日、防火啓発パレードが町内で実施されました。高橋正夫町長のあいさつの後、消防車両10台と町危険物安全協会の車両13台が消防署駐車前を出発し、町内約7キロを走行しながら火災予防を呼び掛けました。



町内初の消防団 協力事業所に認定

4 16

本別町農業協同組合（田中敏行代表理事組合長）への「消防団協力事業所表示証」伝達式が4月16日、同組合事務所で行われ、遠藤利之本別消防団団長から田中組合長へ表示証が手渡されました。この表示証は、池北三町行政事務組合から認定された、消防団活動に積極的に協力している事業所に交付されるもので、町内では同協同組合が初。遠藤団長は「職員の消防団活動に対する配慮に感謝するとともに、今後も積極的な協力をお願いします」と述べました。



49年間の活動に幕

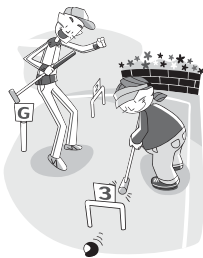
4 12

美里別地区私設消防隊（荒木幸造隊長、14人）解散式が4月12日、美里別西上地区農業準備休憩施設で開催されました。大和田盛後援会長が「消防隊が地域防災に果たして来た役割と成果が、今後、地域発展の礎になることを願っています」と式辞を述べ、荒木隊長が「消防隊はなくなるが、その精神は忘れません」とあいさつ。続いて、大和田後援会長から現役団員へ感謝状と記念品が手渡されました。最後に、荒木隊長から大和田後援会長へ大旗が返納され、49年間の活動に幕を下ろしました。



みんなの健康

333



高齢者の心の病

新年度が始まり1か月、新しい生活に、少し慣れてきたころでしょうか。「5月病」という心の病もチラホラ聞こえてきますが、心の病は若い世代の人達に限ったことではありません。高齢者の心の病の特徴は「頭痛・肩こり・めまい・動悸」など身体症状が表面に出ることです。

精神面では、イライラしたり怒りっぽくなる傾向が見られます。老化や病気による変化、退職、親しい人との別れなど、心の病にかかる要因が多くあり、また、認知症と間違われやすく、気づかれにくいいため悪化させてしまう可能性も高いと言われていま

す。このような状態になる前に、日ごろから「悩み事を家族や友人に相談する」「生活リズムを整える」「地域の活動等に参加し、他者との交流を図る」などして、心の健康を保つ生活を心掛けることも大切です。

また、家族や身近な人の様子が「いつもと違う」と思ったら、まずはかかりつけ医に相談してみましよう。地域包括支援センター（総合ケアセンター）でも相談を受け付けていますので、ご連絡ください。

地域包括支援センター
保健師 本多朝美

未来に輝く子どもたち

本別町の未来を担うかわいい星たちです。
お父さん、お母さんのたくさんのお愛に包まれてぐっすり元気に育つてね！



北4丁目
石川 琴望 (密枝マク)



清里
高橋 萌々子 (康子マク)



山手町
濱本 美桜 (綾マク)

※写真は本人に了解を得た上で掲載しています

銀河ホップアラウンド

足寄町

第31回

足寄ふるさと花まつり

シバクラやツツジを眺めながら、家族や友人と焼き肉を食べて楽しいひとときを過ごしませんか。皆さんのお越しをお待ちしています。



口とき 5月27日(日)
午前10時

口ところ 足寄町里見が丘公園フラワー園
口内容 町民ステージショー、カマス挙げ大会、抽選会、炭の無料配布など
口詳細 足寄町役場経済課農業商工観光室
☎2512141内線241

陸別町

オフロードバトル

今年もオフロードシーンが開幕します。バイク車、ATVによる迫力あるレースを是非ご覧ください。



口とき 5月20日(日)
午前9時スタート

口ところ 陸別サーキット (陸別町ウエソハッ)

銀河の森天文台からのお知らせ
5月14日(月)から26日(金)まで、メンテナンスのため休館いたします。

口入場料 大人 1200円 (割引券で200円引き) 高校生以下 無料
※割引券配布場所は電話でお問い合わせください
口詳細 陸別町役場産業振興課
☎2712141

帯広市本別会定期総会

帯広市本別会(相澤治会長、84人)の第77回定期総会が3月31日、帯広市内のホテルで開催され約40人が出席しました。本別町で開催される「つつじ祭り」に合わせ開催する「観桜会」などの平成24年度事業計画を承認。本別町からモ7人が出席した懇親会では、相澤会長が「創立80周年に向け、ますます発展していくよう楽しい活動で会員を増やし、本別町へエールを送り続けたい」とあいさつ。高橋正夫町長が近況を報告し、会員はふるさと本別町の話しなどで親睦を深め、ビンゴゲームなどで盛り上がりまりました。



会員大募集!

帯広市本別会では会員を募集しています

本別高校卒業、中学校まで本別町にいた、親が本別町にいる...など、本別町にご縁のある人お気軽に参加をお待ちしています。

問い合わせ 帯広市本別会庶務 福家督和さんへ
☎0900-705012034

ご寄付ありがとうございます

平成24年3月16日から4月16日
次の通りご寄付をいただきました。紙上をかき厚くお礼申し上げます。(敬称略)

- ★本別町老人ホーム指定
タオル100本・みかん10kg・ポケットティッシュ200個
..... 勇足カラオケ愛好同志会
タオル100本・雑巾ほか25枚
..... 北5丁目 J A本別町女性部
- ★本別町特別養護老人ホーム備品購入費指定
金30,000円 北6丁目 野中光子

- ★本別町国民健康保険病院医療施設等整備基金指定
金50,000円 新町 赤坂トシ子
金100,000円 浦幌町 香川 真名
金30,000円 匿名
金100,000円・体交枕 匿名
- ★町内保育所指定
交通安全帽子62個
..... 本別ライオンズクラブ 会長 山下 博明
- 個性あるふるさとづくり寄付条例による寄付
- ★福祉でまちづくり推進事業
金5,000円 匿名
- ★日本一の豆を生かした農産物加工体験施設整備事業
金5,000円 匿名

本のある暮らし 134

たくさん読もう。 楽しもう。

戸籍のまど

お誕生

3月後半から
4月前半の
届出分

- 佐川 菜祐夏^{まゆか} 祐希^{ゆき} 千夏^{ちか} 3/11 活 込
- 濱本 美桜^{みお} 英晴^{ひな} 綾^{あや} 3/17 山手町
- 木本 志龍^{しりゅう} 祥晴^{しやう} 絵梨香^{えりか} 3/25 向陽町

ご結婚

- (羽 賀 健 一^{けんいち} 新 町
- (横 山 友 美^{ともみ} 幕 別 町
- (田 西 嘉 高^{たか} 柳 町
- (井 村 真由美^{まゆみ} 南 4 丁 目
- (鈴 木 讓^{まこと} 向 陽 町
- (仲 山 樹 里^{じゅり} 足 寄 町

おくやみ

- 佐藤 博^{ひろ} 88歳 3/18 美里別西中
- 赤坂 和夫^{わくお} 80歳 3/18 新 町
- 山田 道雄^{みちお} 82歳 3/21 押 帯
- 北村 英子^{ひなこ} 86歳 4/9 向陽町
- 堤 中進也^{なかつゆき} 64歳 4/9 弥生町
- 野中 ヤ卫^{やゑ} 96歳 4/11 清流町
- 廣田 恵次^{けいじ} 87歳 4/11 仙美里元町

ただいま「こどもの読書週間」(4月23日～5月12日)です。
 ☆幼児にはお父さん、お母さんが本を読んで聞かせてあげましょう！
 ☆毎日たとえ短い時間でも本を読むことを勧め、本を読むのを聞いてあげましょう！
 ☆お父さん、お母さんみずからが読書する姿を子どもたちの目に触れさせましょう！



図書館では期間中、共同制作「みんなのこいのぼり」を展示しています。
 こどもたちが図書館で一生懸命作ったこいのぼりなどを模造紙に張り付けました。是非ご家族で来館いただき、展示作品と春の読書を楽しんでください。



“こいのぼり”って意外に簡単だねー



よし！この辺におよがせよーっと！

わたしたちのまち

前月比
 人 口 **8,018人**(-172)
 男 **3,919人**(-108)
 女 **4,099人**(-64)
 世帯数 **3,749戸**(-90)
 〔3月末日住民基本台帳〕

お問い合わせ先
本別町図書館
 (愛称:ぶつくるーぶ)
 本別町北2丁目 ☎・FAX 22-5112